

## 令和7年度「豊かな心の教育」実施報告 ～好ましい人間関係の構築をめざして～

本校では、令和7年度「豊かな心の教育」の一環として、「自分も相手も大切に作るコミュニケーション」をテーマにした学習活動を実施しました。本取組は、高校1学年全クラスおよび定時制2～3年生を対象に、価値観の多様性を理解し、相互に尊重し合う人間関係を育むことを目的としています。

当日は、茨城県スクールソーシャルワーカーであり、「舞台屋あい」代表の内田 真（うちだ まこと）氏を講師にお迎えし、体験型のグループワークを中心に学びを深めました。はじめに、安全で安心できる「場づくり」を大切にしながら、コミュニケーションの基本についての説明が行われました。

体験活動（アイスブレイク）では、架空のボールをキャッチボールする体験を通して、「投げる」「受け取る」というやりとりが、コミュニケーションそのものであることを体感しました。相手を意識し、呼びかけ、応答することの大切さに、生徒たちは楽しみながら気づいていきました。

メインワークでは、「おーい」という主語のない呼びかけを使ったゲームに挑戦しました。思いがあっても相手に伝わらないことがあることや、伝え方によって受け取り方が変わることを、体験を通して学びました。

活動後の振り返りでは、「呼ばれていても気づかないことがあった」「顔を見て話すことの大切さが分かった」「言葉遣いに気をつけたい」「相手の話をしっかり聞きたい」など、多くの素直な感想が聞かれました。生徒たちは、自分と相手の気持ちを大切にすることの大切さを、実感をもって理解していました。

最後に講師から、「人間関係は一方通行ではなく、相手の反応があってこそ育まれるもの」というお話があり、生徒一人一人が日頃の自分の関わり方を見つめ直す機会となりました。

本校では今後も、このような学びを大切にしながら、生徒が互いを尊重し、安心して学校生活を送れる環境づくりに努めてまいります。

○活動の様子

